

安全報告書

2018 年度



横浜高速鉄道株式会社

ごあいさつ

平素より横浜高速鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

横浜高速鉄道では、運行の基本である「安全の確保」は、すべてに優先される最も重要な責務であると考え、安全を最優先とする企業風土の定着に社員一丸となって取り組んでおります。

本報告書は、2018年度の当社における輸送の安全の確保に関する取組みや、鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。2018年度は、お客様に安心してご利用いただけるよう、日本大通り駅にホームドアを設置しました。また、災害に備えた防災訓練として列車一斉停止訓練や大規模地震を想定したエレベーター内からの避難訓練、テロ発生時の対応訓練を実施しました。こうした訓練等を通して、事故・災害に対し社員一人ひとりが迅速かつ的確な初期対応を行い、お客さまの安全確保が図れるよう、さらなる安全管理体制の構築に努めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社における安全の確保に向けた取組みを皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。

是非ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2019年6月

横浜高速鉄道株式会社

代表取締役社長 鈴木 伸哉



目次

| | |
|--------------|----|
| ● 会社概要 | 1 |
| ● 安全に関する基本方針 | 2 |
| ● 安全管理体制 | 3 |
| ● 安全確保の取組み | 5 |
| ● 障害・事故 | 10 |
| ● 安全対策 | 11 |
| ● 営業路線図 | 12 |

会社概要

●名称

横浜高速鉄道株式会社

●所在地

神奈川県横浜市中区元町一丁目11番地

●設立

1989年3月29日

●事業内容

1. 鉄道事業

(みなとみらい21線：第一種鉄道事業者、こどもの国線：第三種鉄道事業者)

2. 鉄道施設内における日用雑貨・飲食物等の販売、飲食業、広告業および旅行業等のサービス事業

3. 不動産の売買、管理および賃貸

4. 前各号に付帯関連する一切の業務

経営理念

- 一 私たちは、公共交通機関としての使命を深く自覚し、運行の基本である安全を最優先とし、快適で利便性の高いサービスを提供します。
- 二 私たちは、鉄道事業を通して横浜都心部の活性化や沿線の集客を図るとともに、首都圏の広域的な交通ネットワークの一翼を担います。
- 三 私たちは、健全で安定した鉄道経営を目指します。

安全に関する基本方針

当社では輸送の安全を確保するため、「安全方針」を定め、全社員に周知・徹底を図っております。

●安全方針

1. 常に安全を最優先とし、人命を第一に行動します。
2. 法令・規程等を遵守し、厳正に職務を遂行します。
3. 思い込みや憶測に頼らず、迅速かつ正確に対処します。
4. 気づき合う職場環境をつくるため、コミュニケーションを大切にします。
5. 問題意識を高く持ち、安全マネジメント態勢の継続的改善に取り組みます。

●社員行動規範

1. 企業の社会的使命を認識し、各種法令、規範を遵守し、公正な事業活動に努めます。
2. お客様に安心して、気持ちよくご利用いただける鉄道を目指すため、まず、お客様の視点に立って考えます。
3. 経営情報などの情報を適時、適切に開示します。
4. 事業活動で取得した情報を大切に扱い、社内規定に基づき管理を徹底します。退職後も秘密を保持します。
5. ひとたび事故が起これば、お客様の人命に関わる事業であることを認識し、安全マネジメント体制を確立するとともに、危機意識を持って事に当たります。
6. 環境に配慮した事業活動を行い、環境への負荷を減らし、資源を有効に活用する努力をします。
7. 人権意識を高め、あらゆる差別を廃し、個人を尊重します。
8. 社会的秩序に反する勢力に対しては毅然とした態度で臨みます。
9. セクシュアルハラスメント等差別のない、個人を尊重する働きやすい環境を創ります。
10. 会社は自己実現の場である事を認識し、自ら考え、失敗を恐れず挑戦し、自分の持てる能力を十二分に発揮します。チームとしての力が最大となるよう、和を大切に、誠実に行動します。

●安全重点施策

1. 全社的な安全対策の深度化と安全意識の底上げ

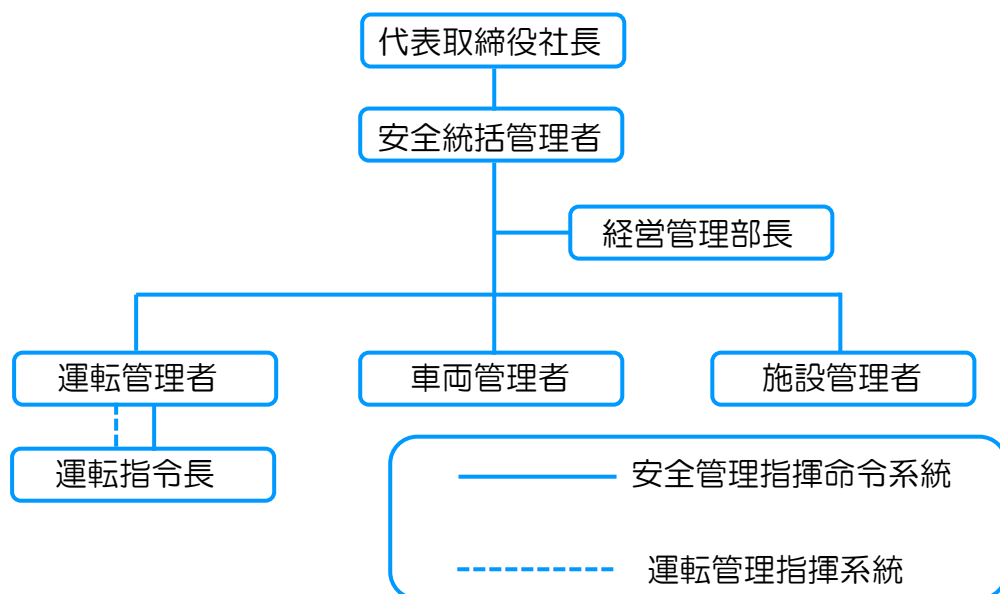
- ・「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」改正の周知
- ・災害、事故対策規程に基づく各課役割の再周知及びシナリオのない災害、事故対策本部設置訓練の実施と有効性の検証
- ・ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた多客時対応や輸送障害、テロ対策等の訓練実施と検証

安全管理体制

代表取締役社長を最高責任者として、安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務を明確にして安全管理体制を構築し、運輸安全マネジメント態勢の継続と改善に取り組んでいます。

●安全管理体制

安全管理体制図



●各責任者の責務

代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する全ての責任を負う。

安全統括管理者：輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

経営管理部長：輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

運転管理者：運転に関する事項を統括する。

車両管理者：車両に関する事項を統括する。

施設管理者：鉄道施設に関する事項を統括する。

●運輸安全マネジメント態勢の継続と改善

安全管理体制のPDCA サイクル



◆安全推進会議

安全統括管理者を議長に、経営管理部門、運輸部門の部長、課長および係長がメンバーとなり毎月開催しています。事故・障害の情報共有と原因究明・対策の検討等、安全に関する事項について審議しています。

◆安全マネジメント内部監査

内部監査研修修了者と同等の能力を有する者の中より、安全統括管理者が指名した者で構成し、代表取締役社長、安全統括管理者、経営管理部門、運輸部門に対し監査を実施しています。

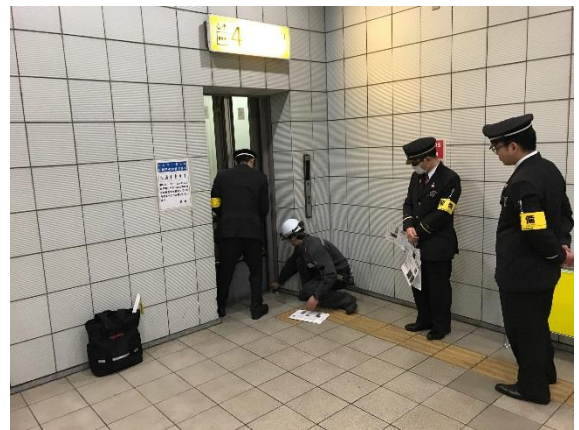
安全確保の取組み

●エレベーター閉じ込め救出訓練

エレベーター内に閉じ込められたお客様を早期救出する事を目的として、駅係員が管理会社の補助によらず単独でエレベーター操作ができる様、2018年4月19日（木）にメーカー、駅監督者、係員で救出訓練を実施しました。



メーカー技術員による説明



駅係員による訓練

●異常時対応訓練

2018年5月21日（月）～5月23日（水）にホームからお客様が転落した事故を想定した列車の停止措置及びお客様の救護訓練と保安装置故障を想定した転てつ器（ポイント）手回し訓練を駅係員で実施しました。



列車停止措置訓練



転てつ器手回し訓練

●テロ対策合同訓練

2018年6月19日（火）に有毒物質を含む爆発物を仕掛けられる想定でテロ対策訓練を実施し、関係機関との連携、連絡体制の確認、社員の危機管理意識の高揚を図りました。



駅係員による警察、消防への通報



みなと赤十字病院医師によるトリアージ



消防の特殊災害対応隊による負傷者の救護



警察 NBC 対応部隊による現場検証及び除染作業

●安全統括管理者講話

2018年7月18日（水）～7月20日（金）に現業と本社員を含めた全社員に安全統括管理者が講師となり、安全管理規定および安全管理体制等の「安全に関する教育」を行いました。

当社の安全管理体制は、全社員が理解し行動すべきものであるため、今後においても継続して実施してまいります。



安全統括管理者講話

●防災の日訓練

2018年9月1日(土)「防災の日」の13時00分に、地震発生に備えた防災訓練として、列車の一斉停止訓練を実施しました。

また、緊急メール情報受発信訓練を実施しました。

●元町・中華街駅、アメリカ山公園合同防火訓練

2018年9月18日(火)、2019年2月21日(木)に本社内からの出火を想定した防火訓練を、横浜市中消防署、アメリカ山公園テナント、駅および本社合同で実施しました。



避難訓練



火災煙体験



消火栓使用訓練



消火器使用訓練

●東京急行電鉄(株) 運転事故総合訓練見学

2018年10月5日(金)に東京急行電鉄の運転事故総合訓練を見学しました。初動行動、連絡通報、応急救護、避難誘導、施設復旧の一連の流れを確認し、社内共有を行いました。



●異常時総合訓練

2018年11月30日(金)の終電後に大規模地震の発生を想定した異常時総合訓練を関東ブロック緊急消防援助隊と合同で実施しました。

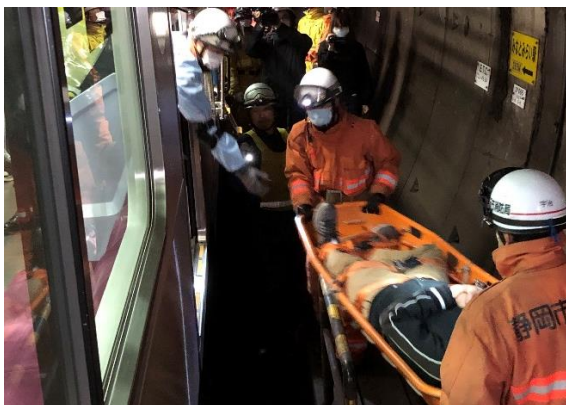
運転指令員、乗務員、駅係員および本社員が合同で、地震発生時における関係各所への連絡通報、脱線により運行不能となった列車のお客様を非常梯子使用により降車させ、最寄り駅まで避難誘導する訓練を実施しました。



救護訓練



非常梯子使用による降車



最寄り駅までの搬送



経営トップによる講評

●安全推進大会の実施

2018年12月5日（水）に当社と協力会社の安全推進の維持および向上を図ることを目的として、当社として初の試みとなる「安全推進大会」を開催しました。

参加協力会社は電気、土木、建築、運輸営業部門の協力会社 54 社（約 110 名）。

当社および協力会社代表の安全の取り組みについて発表を行い、外部に依頼した特別講演「阪神大震災の被害と復旧 ～阪神大震災を知り、備える～」を聴くことで、安全に関する意識の向上、協力会社との安全意識の共有を図ることが出来ました。

今後も引き続き実施を検討し、協力会社を含む安全推進の維持および向上を図ります。



安全統括管理者による講話

●経営トップによる安全講話および現場巡視

2018年12月10日（月）～12月12日（水）に全社員を対象に社長安全講話を実施しました。安全とは何か、過去事故事例から学ぶ課題、安全確保に対する心構えなど安全確保の重要性を周知して実践するように促しました。

また、安全総点検期間中に、経営トップを含む幹部の下で自主点検を実施し、駅や運転指令所等の現業部門への巡視を通じ、現業監督者との意見交換を行うことで、経営方針で掲げる安全最優先の意識をより強固なものにしています。



社長安全講話



社長巡視

●AED使用訓練

2019年3月13日（水）～3月15日（金）に緊急時のAED使用を想定した救護訓練を実施しました。



AED使用方法の説明



AED使用訓練

●災害・事故対策本部設置訓練

2019年1月4日（金）に全社的な安全対策の深度化と安全意識の底上げを目的として、災害・事故対策規程に基づく各課役割の再周知およびシナリオの無い災害・対策本部設置訓練を実施しました。

今後も訓練を繰り返し実施し、ある程度のシナリオと訓練情報を事前に開示して、考える時間を作ることにより、より効果的な訓練となるよう計画的に実施します。

障害・事故

●鉄道運転事故（列車脱線事故、鉄道人身障害事故等）

鉄道運転事故は発生しませんでした。

●輸送障害（鉄道に起因する30分以上の遅延や運休等）

1. 人身事故に伴う輸送障害

《発生日時》 2019年3月28日（木） 13時10分頃

《発生場所》 みなとみらい線 新高島駅

《概要》 運転士が新高島駅手前でホーム上から線路に飛び込む人影を発見した為、直ちに非常制動の手配をとりましたがおよばず、接触し停止しました。

車内のお客様に降車いただくとともに、警察及び救急隊と連携して対応し、約75分後に運転を再開しました。

《対応》 人命救助及び安全確保を優先し、対応しました。

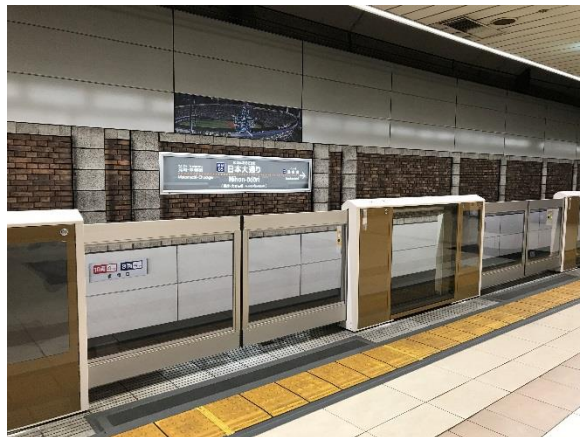
●インシデント（事故の兆候）

インシデントは発生しませんでした。

安全対策

●可動式ホーム柵の整備

お客様の線路転落や、列車接触事故防止のため、2019年3月23日より日本大通り駅で可動式ホーム柵を供用開始しました。駅ホームにおける更なる安全性向上を図るため、2020年度までに、みなとみらい線全駅に、可動式ホーム柵を整備します。



日本大通り駅ホームドア

●馬車道駅ホーム安全性の向上

乗務員の視認性を改善する為、馬車道駅ホームＩＴＶモニタの照度調節及び照明の追加により視認性を向上させました。

●AEDの設置

みなとみらい線では、全駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。

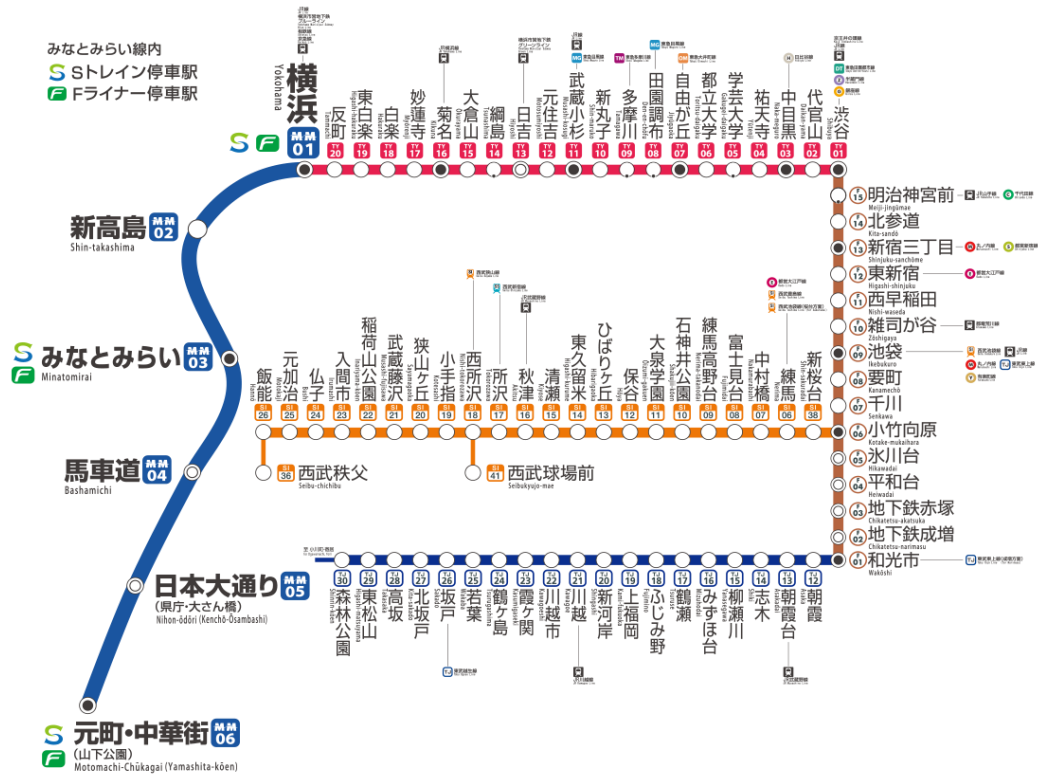


各駅のAED

●ATC（自動列車制御装置）

みなとみらい線では、信号保安装置としてATC（自動列車制御装置）を採用しています。これは、列車が連続的に速度情報を受信し、走行速度が定められた速度を超えた場合には自動的にブレーキが作動するシステムです。

営業路線図



| F フライナー停車駅 | |
|--------------|---------|
| みなとみらい線・東横線内 | 特急停車駅 |
| 副都心線内 | 急行停車駅 |
| 西武池袋線内 | 快速急行停車駅 |
| 東武東上線内 | 急行停車駅 |

| S ストレイン停車駅 | |
|--|--|
| みなとみらい線・東横線・副都心線・西武池袋線・西武秩父線 | |
| 元町・中華街、みなとみらい、横浜、自由が丘、渋谷、新宿三丁目、池袋、石神井公園、所沢、入間市、飯能、西武秩父 | |

| M.M みなとみらい線 | |
|-------------|------------|
| ● | 特急・通勤特急 |
| ● | 急行停車駅 |
| ○ | 通勤特急・急行停車駅 |
| ○ | 通勤特急・急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |

| TY 東急東横線 | |
|----------|------------|
| ● | 特急・通勤特急 |
| ● | 急行停車駅 |
| ○ | 通勤特急・急行停車駅 |
| ○ | 通勤特急・急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |

| F 副都心線 | |
|--------|------------|
| ● | 急行・通勤急行停車駅 |
| ○ | 通勤急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |

| SU 西武有楽町線 | |
|-----------|-------|
| ● | 西武池袋線 |
| ● | 西武秩父線 |
| ● | 西武秩父線 |

| TU 東武東上線 | |
|----------|-------|
| ● | 急行停車駅 |
| ○ | 急行停車駅 |

本報告書に関するお客様のご意見をお寄せください。

「2018年度 安全報告書」の内容や当社の安全への取組みについてのご意見・ご質問は「横浜高速鉄道お客様電話」または「横浜高速鉄道ホームページ」で承ります。

横浜高速鉄道お客様電話

TEL：045-664-0629

（受付時間：平日 AM9:00～PM5:30、土、日、祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く）

横浜高速鉄道ホームページ

<http://www.mm21railway.co.jp>

※画面最下部「お問い合わせ」よりご意見をお寄せください。